

善 擇

題字 擇善 揮毫 西条市立西条小学校教頭 久門 宣 解説は3面



発行所
（公財）愛媛県教育会
〒790-8545
松山市祝谷町1丁目5-33
エスポワール愛媛文教会館内
電話 (089)945-8644
FAX (089)945-1459
E-mail info@ehime-kyouikukai.jp

- (2) 学校紹介 大瀬小学校
- (3) ふるさとに生きる
- (4) (5) 特集「心に残る私の先生」
- (6) (7) 第44回全日本中学校国語教育研究協議会愛媛大会を終えて
- (8) ふるさとスケッチ

一番の応援団でありたい



愛媛県PTA連合会

会長 村上 一郎

地域の先輩から声をかけられ、嫌々始まったPTA活動。最初は、引き受けるのではありませんかと後悔することもありました。が、いつの間にか毎朝子どもたちと一緒に登校し、たくさんの子どもたちと挨拶するのが日課となりました。冬場の長浜名物「肱川あらし」が吹き付ける中でも、毎朝続けました。それは、元気な子どもたちの姿だけでなく、毎日遅くまで残って子どもたちのために頑張っている先生方の姿もすっかり見えてきたから、七年間続けることができただのだと思います。

私がPTA活動に関心を持つようになったのは、小学校の統廃合計画がもちあがり、それがきっかけでした。そこ

からいろいろなことを考えるようになり、さらに深くPTA活動に関わるようになりました。今年の三月、地元の小学校は廃校になります。今は残念であると同時に、様々な経験させてくれた学校に「ありがとう」の思いでいっぱいです。

学校の役員を終え、市や県のPTA役員を務めるようになる、直接的には子どもたちや学校、保護者と関わり合う機会は少なくなりました。しかし、また別の立場で、それぞれの活動を支え、やれることを全力で行うことが子どもたちのためにつながると信じています。現在、市・県・国のそれぞれの団体でスマホ・携帯電話の問題について

のリーフレット作成に当たるなど、子どもたちの健全育成に取り組んでいます。

私は日頃から、「PTAは、学校や保護者、そして子どもたちの一番の応援団でありたい、あるべきだ。」と考えています。一番の応援団だからこそ、何かあるときには学校にも保護者にも、そして一番大事な子どもたちにも真剣に向き合います。お互いが本音で話をし、協力することが子どもたちのためになると思っています。

教育を取り巻く環境は以前より厳しくなっています。でも、それぞれの学校には、個性豊かな素晴らしい「一番の学校応援団」がいるはず。地域と学校をつなぐのは、自分たち保護者であると思います。お互いが本音で話ができ、協力することが子どもたちのためになると思います。愛媛の子どもたちの愛顔を絶やさないため、これからはとも頑張りましょう。

- 一 略 歴
- (むらかみ いちろう)
 - 平成十九年十一月年度 大洲市立大和小学校PTA会長
 - 平成二十三年年度 大洲市立長浜中学校PTA会長
 - 平成二十六年・二十七年年度 愛媛県PTA連合会会長
 - 平成二十七年年度 公益社団法人日本PTA全国協議会環境対策委員会副委員長

響き ぶきょう

新聞に同窓会の写真がよく掲載されている。卒業後、何年経っても師弟関係は変わらず、恩師を中心にみんな笑顔で写真に写っている。同窓会で盛り上がる話といえば、当時の学校生活で起こった様々な出来事である。授業をはじめ、一緒に汗や涙を流して頑張った部活動やクラブ活動、そして学校行事。その一つ一つにかけがえのない思い出がいっぱい詰まっている。▼学校は子どもたちにとって思い出づくりの場所である。教師は、その思い出づくりに大きな役割を担っている。だからこそ、同窓会のとき、教える子に囲まれて、記念写真の中心に据えられていくのである。教師も懐かしさとともに教師冥利に尽きるひとときを過ごせるのである。▼現代社会は、人間関係が希薄であるとよく言われる。子どもたちがしっかりとつながって、同窓会で楽しく語れる思い出をたくさんつくることができるよう、親も子ども教師の頑張りを期待している。同窓会の写真を見るにつけ、こんなことを強く思う。今日この頃である。

ひとこと

出会いは人生



愛媛県教育会理事 菊川有里子

春といえば、出会いの季節。

先生方も子どもたちも、進級や進学に伴う出会いに期待と不安を胸に抱く時期ではないだろうか。しかし、かくいう私は年中が出会いの季節だ。

たとえば、埼玉生まれの私は、高校は東京に、大学は神奈川県に、と地元を離れ全く知らない人との縁を求め、行動範囲を広げてきた。今は結婚して愛媛までたどり着いたが、家業がホテル業なので、日々全国の方々が訪れ(外国の方も)、出会いを職業にしてしまったといつても過言ではない。

お客様に接することが大事な仕事なので、自然とコミュニケーションが生まれる。もう二度とお会いしないかもしれないそのお客様に、今日この一晩が幸せな空気に包まれ、家のようにくつろげるよう、こちらも肩の力を抜いて

もてなす。

お客様としてではあるが、見ず知らずの方と心の通った温かい会話が出来るこの仕事は天職だと思える。

このように書くと、私が長年仕事人間のように思われるかもしれないが、実は昨年秋に八年間にわたる女将休業から復帰したばかりである。休業の理由は、育児やら社長(夫)との対立やら、といういろいろあったのだが、育児に専念出来た八年間に、仕事からは得られない出会いや経験がたくさんできた。PTA活動もその一つである。素晴らしい先生方や保護者の方との出会いは私の貴重な財産になった。この春娘の中学校卒業に伴い、私もPTAを卒業する。しかし、出会いに卒業はない。今までの出会いを大切にしつつ、新たな出会いを日々楽しんでいきたい。



俳画・水墨画教室 山口 恭子 作

学校紹介

No.167

内子町立大瀬小学校

祝「おやじ組」十周年

小田川のせせらぎ。陣が森からの薫風。自然豊かな本校にも、少子化の波が打ち寄せ、児童数も減少の一途をたどっている。これに伴うPTA会員数の減少を補うため、会員相互の結束と地域との連携強化を図るとともに、活力あるPTA活動を継続することを目的に、平成十七年度に結成されたのが「おやじ組」である。本校から徒歩三十分位置する「大瀬っ子ランド」という広大な畑の維持管理を主な活動内容としている「おやじ組」も今年度で記念すべき結成十年目となる。

本校児童は、この「おやじ組」の協力のもと、五月にヒマワリの種まきとサツマイモの苗植え、七月にヒマワリフェスティバル、十月にサツマイモの収穫を行っている。特に、夏真っ盛りに行われるヒマワリフェスティバルは盛大である。満開となったヒマ

ワリ畑の中で、学年毎にヒマワリに関する出し物を披露したり、地域の老人会の方々とともにレクリエーションを楽しんだりしている。また、「おやじ組」が設置した高台から空の青色、大輪の黄色、山々の緑色の中で映える子どもたちの笑顔もまた格別である。

教職員も「おやじ組」の一員として活動し、普段希薄になりがちな子どもたちの父親と接することができるという利

点もある。作業後の懇親会では、日頃の子どもの様子の様子について腹を割って情報交換をすることができている。

しかし、課題もいくつか見え隠れしている。子どもたちは、ヒマワリフェスティバルやサツマイモの収穫と、言わば「おいしいとこどり」である。「おやじ組」が行っている畑の土作り、肥料撒き、草刈り、後始末など陰で支えてもらっている活動は子どもたちにとっては見えにくい。徒歩三十分という距離も子どもたちの活動を制限してしまっている要因の一つである。今後は、これらの課題と向き合いながら、子どもたちが、自然の恵みだけでなく人の支えにも気付き感謝できるように支援の在り方を考えていきたい。また、保護者・地域との連携をさらに強化することで、ふるさと大瀬の自然・人を大切に思う郷土愛を育む教育へと発展させていきたい。



(教諭 宇都岡貴秀)

題字に寄せて

たく
善 ぜん



西条市西条小
教 頭
久門 宣

西条小学校の前身である「擇善堂」は西条藩の藩校として一八〇五年（文化二年）に開設されました。

「擇善（たくぜん）」とは儒教の経典「中庸」に「誠者天之道也。…誠之者擇善而固執之者也」とあります。大意は、「人間の真の生き方は、学ぶことにより善悪をしつかり區別し、その擇（えら）び抜いた善を最後まで守り通し失わないこと」です。

西条小学校の教育目標「誠実にたくましく生きる児童の育成」は、この「擇善」に由来しています。

ふるさとに生きる

思い出に心和ませて



宇和島教育会OB
羽藤 明 敏

本誌への私の投稿は四度目になる。今回も感謝を込めて投稿したい。

「若者は未来を語り、老人は過去を語る」という。若者には大いに夢を語り、その為の努力をして欲しい。老人の過去の語りは「余生の為になる」ものか、「若者へのエール」でありたい。

とは言っても、この「私の語り」が余生の為になる保障はない。しかし、思い出の懐かしさは私の心の慰みになり、支えにもなる。お付き合いいただきたい。

私の「故郷」は、「松山」といわなければならぬ。しかし、小学校三年生の時、転校して、この三間に来た。以来、この地に居を構え、地元から

No. 85

羽藤 明 敏

旧制中学・高校に、通学六年間、教師として地元勤務十五年間、地元からの通勤二十年間を過ごした。とにかく、私の生活根拠地は、この「三間の地」である。

退職後も、地区では、自治会長を始め、神社総代・神社建設委員長を務めた。町では、結婚推進委員・町民会館運営委員・町誌編集委員等々を務め、名刺の裏表が肩書きで詰まるほどであった。

某テレビ局の取材に応じた時、交換した名刺の肩書を見て、「三間の十役」と、字幕で放映されたこともある。爾来、暫くは、この「十役」が私のニックネームになった。

高校生の頃の私は、髪の毛がはみ出る帽子をかぶり、寒

い時などは、姉の赤いオーバーを借用するなど、なり振り構わぬ「天衣無縫」であった。ただ、「数学」の問題解決には情熱を傾けた。

高校二年生の始業式の朝、「君が羽藤君かね？」と、新任の先生の声。「はい。」と返事した私に、「君は数学が好きらしいね。」と、微笑んだ。この笑顔の先生が、高校最後の二年間担任となる、数学担当。お蔭で数学教師になれた。昭和四十九年、私の統計教育全国表彰を同期会が祝ってくれた。その「恩師挨拶」の折も「羽藤君なら当たり前。」との祝辞をいただいた。

その数年後、息子さんから計報が入る。突然の計報、友人数名を誘い、弔問。翌日の葬儀の焼香順は、入院されていた病院長よりも前、親戚の中に入れていただいた。



ここまで書いて、偶然、たつた今、無二の親友の計報が入る。敢えて記載した。多謝。ご寛容を。 筆も擱く。

羽藤 明 敏 先生（85歳）
（宇和島市三間町在住）

訂正

二月号において、三面「題字に寄せて」の二行目、「この語を」この話と、六面「特集」の「熊本英貴様」を「熊本英樹様」と、七面 尾下影様、松崎太一様の勤務校を、それぞれ「喜須来小」を「喜須木小」、「城南中」を「城東中」と誤記したことをお詫びし、訂正いたします。

愛媛県教育会の会員の皆様限定
VISA ゴールドカード年会費特別優遇

2016年3月現在



通常 10,000円+税 が
2,500円+税

2年目以降も継続優待

カードの詳しい内容や入会申込書のご請求については、同封のチラシをご覧ください。

三井住友トラスト・カード

TEL 0120-006-542

(平日 9時~17時)
2016.1-3128

集 特 心に残る私の先生

あの一言



金子市小 新居浜市教 今村 信

と一刀両断された。自分なりに考えていたことを正面から反対され、カチンときたが、同時に何故か素直に納得もできた。

今、教師として働いているのは今まで指導して下さった先輩の先生方のおかげである。そしてまた、指導力のない私を温かく見守ってくれた教え子たちと保護者の方々のおかげでもある。もちろん学生の方々の恩師の方々のおかげも大きく、未だに手本にさせてもらっている。

しかし、あの一言がなければ、私は教師にはなっていなかった。

進路について悩んでいた高校三年の時のことである。その時は、教師以外にもう一つ夢があり悩んでいた。それは農学部に入り、農業試験場で品種改良の仕事に携わる道という夢である。そのことを親に相談したら、「お前には無理。優秀な奴はなんぼでもおる。」

まっすぐな先生



小根石市 根論教諭 沙記 吉原

今になって思えば、私にとって絶対の先生は中学校時代の生徒指導の先生、通称「えつき」である。部活動の顧問でも学級担任でもなかったが、いつも生徒玄関に仁王立ちで鬼のように恐ろしく威厳があった。当時、私の学校は荒れていて、生徒たちと本気で向き合っていた先生の顔には、傷テープが貼られていたこともあった。

父親とは、そのことについてもう話すことはできない。(安心してください。生きています。)が、私の人生の方向を決めてくれた「あの一言」に感謝し、ここでご紹介させていただいた次第である。



ある時、希望の先生に相談できるという教育相談日があった。まさか第三希望になるまいと思っていたので、友人と二人で「えつき」を第三希望にした。ところが数日後、「えつき」のもとへ行くことになっていった。緊張していたので、その時の会話はあまりよく覚えていないが、初めて間近で見た先生の笑顔と、「なんで俺を選んだんか。」という声は、今でも鮮明に頭の中に残っている。

の考えていることや、どれだけ自分のことを思ってくれているかくらい分かると思う。何度過ちを繰り返しても、そのたびに真剣に向き合ってくれて、そんな姿は当事者でなくとも心に響くものである。子どもは大人の考えている以上に先生を見る目がある。嫌われるのを恐れることなく、誠心誠意向き合う姿と、その裏に隠された心の温かさは、成長していくにつれて心の中心に温もりとして伝わっていくものだと思う。

成人した今、先生の本当の優しさに気付いている。夢が叶い教師となった今も、私の先生は「えつき」だなあと思う。

いつのまにか...



小根石市常盤 渡部 関児

子どもの頃「先生」が苦手なで、街で姿を見かけると、急いでその場を離れたものでした。そんな性格のため、お世話になった先生のことをほとんど覚えていない私にも、記憶に残る先生がいます。

中学二年の担任です。厳しい先生で、教科書の内容を暗記するまで何度も読み込むことを徹底して教えられました。みんなの教科書は覚えるために引いた鉛筆の線で真っ黒。ただただ覚えるのが苦痛で、次第に臉が重くなるのを足をつねって我慢していた緊張感を今でも思い出します。

十三年後、校長と部下として出会うことになりました。変わらず児童や教職員に熱い指導を続けていました。研究授業をする私への助言が、中学生の時と同じ「教科書を徹底して読み込みなさい」でした。教材を徹底的に分析することを教えられました。読むほどに新たな発見があるのが楽しくて、教科書は自然に覚えてしまいました。以来、教科書や指導要領、指導書などを随分読み込むようになりました。やがて、私も助言する立場になり、研究授業をした若手教員に言った言葉が「教科書を徹底的に読み込みなさい」でした。四十年以上経っても先生の影響を受けている自分に驚くやらおかしやら...

二年前、縁あって先生の高齢者叙勲を申請する機会を得ました。先生の熱い指導を思

い浮かべながら、功績調査を書かせていただきました。教えはいつのまにか受け継がれています。

恩師の存在



中山高論 松山教諭 山岡 新吾

私は、小学校、中学校とスポーツしかしていませんでした。小学校時代はソフトボールを、中学校時代はバスケットボールをしていました。その時点では、教師になりたいとか教師をしようということも考えたこともありませんでした。

しかし、高校生になって、ある体育の先生に出会いました。その先生は、厳しい先生でしたが、社会の厳しさや、今しなければならぬことは何なのかなど、いろいろなことを教えてくださいました。今思えばその先生のおかげでこの道に入ったとも言えます。大学も紹介していただき、合格することができました。実は、その先生の母校の大学でもありました。そして、卒業後は愛媛で教師になりたいと思い、愛媛に帰ってきました。愛媛に帰ってきてからも苦勞の連続で教員採用試験を何度も受けました。やっとの思いで二十八歳の年に採用になり、現在の

祝 受章・受賞おめでとうございます

◇瑞宝双光章(高齢者叙勲)

永井 一男様 88歳 元松山市立余土中学校校長 松山市
田中 博様 88歳 元松山市立宮前小学校校長 松山市

◇平成二十七年 文部科学大臣優秀教職員表彰

大川 博司様 愛媛大学教育学部附属中学校主幹教諭 松山市
田井 美江様 四国中央市立川之江小学校主幹教諭 四国中央市
和井 和美様 松山市立余土小学校教諭 松山市
内海 健一様 松山市立石井東小学校教諭 松山市
菊池 健様 八幡浜市立松蔭小学校教諭 八幡浜市
竹内 雅之様 今治市立大島中学校教諭 今治市
垂水 上司様 今治市立大三島中学校教諭 今治市
松本 智恵様 鬼北町立日吉中学校教諭 鬼北町
加野 美保様 松山市立雄新中学校養護教諭 松山市

至っています。採用試験を受けるたびに、もう今年でやめようかと何度も思いました。高校卒業後もその先生は、毎年生声をかけてくださいました。ある時は電話で、ある時は手紙で。そんな折々の先生の言葉で、私はやっぱり教師になる夢は捨てないで頑張っていこうと思えたことを、今でも覚えています。

心に残る私の先生



八幡浜教育会OB 井上 庸子

卒業制作の彫塑に悪戦苦闘していた私の隣で先生は静かに座って言った。

「君は、体育か美術の教師になつたらいいね。」

その言葉は、柔らかな先生の口調と相まってすんなりと私の心に染みこんできた。

先生の名は、中林文伯。三の時の担任であり、私が所属した女子ソフトボール部の

顧問でもあった。その時の何気ない先生の言葉が、私の未来への道しるべとなった。教師になると報告した卒業式の日、はなむけに額入りの水彩画をいただいた。あまりに嬉しくて、こんな爽やかな絵の描ける、そして、気配りのできる先生になりたいと涙ながらに思った。

教師の第一歩は、八幡浜市立真穴小学校。折しも同じ敷地の中学校に中林先生がいた。初めての給料袋は親の前で開きなさいと、給食費を立て替えていただいたこともあった。良いところを見せたくても失敗ばかりで恥ずかしいことばかり。それでも先生は静かに笑って、「肩の力を抜いたら？」と、軽く助言をくださる。

結婚してからも子育てしながらも、そして、教師を続ける中でも、気がつけばいつもどこかで先生と関わっていた。今、改めて振り返ってみると、先生は私の人生の節目に挟み込んだ「葉」のような人だったと想う。今更ですが、「ありがとうございます、中林先生！」

愛媛県教育会の積立年金制度

老後の生活資金のために、積み立てをはじめませんか？

制度内容等詳細についてはパンフレットをご確認ください。

公益財団法人 愛媛県教育会
電話 089-945-8644

MY-A-16-他-001338

足跡をつづる、私を記す、形に残す。
あなたが主人公のドラマを未来に伝えませんか。

本づくり応援

プロのスタッフが校正作業をサポートします！
プロのデザイナーがデザイン力を発揮します！

- 規格・装丁のご提案 ●編集方針のご提案 ●レイアウト見本のご提示
- 原稿作りのアドバイス ●予算のお見積り - その他、ご相談承ります。

セキ文芸企画社 印刷営業部 TEL (089)945-0112 FAX (089)947-6073

SEKI セキ株式会社

松山本社/松山市津町7丁目7-1 TEL(089)945-0111
東京本社/東京都港区西代4丁目2-8 TEL(03)3377-1230
支店/大阪・福岡 営業所/名古屋・鳥取 http://www.seki.co.jp

- 自 分 史
- 作 品 集
- 研 究 報 告
- 記 念 誌
- 業 績 集
- 旬 集
- エッセイ集
- 写 真 集

**第四十四回全日本中学校国語教育研究協議会
(第二十七回四国国語教育研究大会・第二十
回四国書写教育研究大会・第六十八回愛媛県
国語教育研究大会) 愛媛大会を終えて**

愛媛県教育研究協議会国語委員会

はじめに：大会の趣旨

平成二十七年十一月十二日

(木)、十三日(金)の両日、

今治市において、第四十四回

全日本中学校国語教育研究協

議会並びに標記各大会が開催

された。愛媛では三十二年ぶ

りとなる中学校の全国大会

に、県内外から六百人を超え

る参加を得て、盛会となった。

大会主題を「生きてはたら

く言葉の力を育む授業の創造

（今求められる言語活動を中

心に〜）とし、書写関係は、

「文字感覚を高め合い、確か

な書写力を育む授業の創造」

とした。

予測困難な社会を主体的・

協働的によりよく生きていく

ことが求められていく今日、

子どもたちに「生きる力」の

基盤となる「確かで豊かな言

葉の力」を育てることは、国

語科教育の最も重要な課題と

いえる。

愛教研国語委員会では、大

会主題の具現化に向けて、

①言語活動の効果的な導入

②単元づくり（実態把握・年

間指導計画・教材開発）③授

業づくり（課題意識の醸成と

持続・関わり合いの場・定着

のための指導）④評価（指導

と評価の一体化・多面的で計

画的な評価・自己評価）等の

視点を設定し、地元教委の全

面的な支援のもと、県教委、

愛媛大学等の指導助言を得、

会場校及び今治・越智支部と

連携し、研究を進めた。

会場校の今治市立日吉中学

校、吹揚小学校は、ともに学

校統合という大事業と並行し

て、研究に取り組んだ。大会

に向けて、県国語委員会の研

究主題及び研究視点を受け、

自校の実態を踏まえて、「具

体的にどのような言葉の力を

育てるのか」「そのための言

語活動とは何であり、どのよ

うな授業を構想するのか」等
について実践的・具体的に研
究実践を進めた。以下、両校
の四年間の歩みと大会当日の
様子を振り返る。

日吉中学校研究の歩み

【平成二十五年年度】

四月、統合日吉中学校開校。

先行研究をしていた小学校

の研究授業への参加を通して

研究方針・作成すべき資料・

生徒の実態調査の方法など研

究の方向性を確認し、会場校

研究主題を「生きてはたら

く言葉の力を身に付け、高め合

う生徒の育成」に決定した。

また、研究の深まりを求め、

今治市内の中学校国語科教員

全員の協力のもと、五部会の

研究体制を組織した。

【平成二十六年年度】

今治・越智中学校国語部会

による具

体的な研

究がスタ

ートした。

五月には

市内の国

語科教員

が部会こ

とに決定した教材を用いた指
導案を持ち寄って協議し、六、
七月に立花中、西中で研究授
業を実施した。また、西中・関
前中・桜井中とともに「互い
の学校の魅力を伝え合おう」
と題した共同研究を実施する
こととした。八月に再び全教
員による指導案の検討を行
い、二学期、五回の研究授業を
実施した。全教員がいずれか
の研究授業に参加し、協議資
料の共有を通して研修を深め
た。同好会や県の研究大会で
発表し、助言を得たことによ
り研究の方向性が確立した。

【平成二十七年年度】

今治・越智中学校国語部会

による指導案の検討の後、附

属中学校で県国語委員会研究

部と合同審議、さらに今治・

越智国語同好会で二度目の指

導案審議を行い、七月以降、

部会ごとに研究協議を積み重

ねた。並行して研究紀要の作

成、会場の準備計画、校内掲

示の改善等に取り組んだ。

大会直前の十一月には、日

吉中全職員の協力のもと校内

掲示等、言語環境の整備も見

事に整い、大会当日を迎えた。

吹揚小学校研究の歩み

【平成二十三年年度】



市内四小学校が統合する新
設小学校で四国国語・四国書
写教育研究大会の開催が決定。

【平成二十四年度】

会場校研究主題を「確かで

豊かな言葉の力を身に付け、

進んで学び合う児童の育成」

とし、四校研究推進委員会を

組織し、各校の共通理解を図

るために、定期的交流授業研

究会を始めた。

【平成二十五年年度】

月一回の研究推進委員会

で、四校の研修主任、国語主任

に加え、二名の教務主任（県

国語委員会幹事）を中心に、現

状における課題と研究の方向

性を協議するとともに、県国

語委員会研究部からの提案を

受け、「身に付けさせたい力



一覧表、単元構想表、言語活動「一覧表」の作成に着手した。

また、指導案の検討の段階から四校で協力するとともに、授業研には、県国語委員会研究部員や日吉中からも毎回参加を得、研究を推進した。

【平成二十六年度】

閉校・統合の準備に追われながら、研究推進委員会を重ねた。年度内に研究紀要をほぼ完成させることを目標とし、前年度に作成した「身に付けさせたい力一覧表」等の見直し・修正も行った。

【平成二十七年年度】

統合校として吹揚小学校が開校した。スタート時にはやや混乱もあったが、一学期中に三領域と書写の研究授業を実施し、大会指導案の検討を行った。夏季休業中に県国語委員会、地教委、国語同好会等の協力を得、二回の指導案

審議を実施し、課題意識を大切にしながら単元構想や授業づくりに向けての指針をもつことができた。

そして十一月。吹揚小に関わるすべての人の思いが一つになって、大会を迎えた。



研究大会の状況

初日 全体会（今治市中央住民センター）

開会式と基調提案の後、愛媛大学副学長 三浦和尚先生に「確かな活動、豊かな言葉」という演題で記念講演をしていただいた。子どもにとって「実の場」となる国語学習を創り出すことの大切さを具体的な事例を交え、実践的であり意義な講演であった。

二日目 日吉中学校会場
午前 三領域と伝統文化、書写の五つの公開授業と協議

単元を貫く課題意識のもと魅力ある言語活動に主体的・協働的に取り組む生徒の姿が、

授業協議会で高評価を得た。

午後 五つの分科会
全国各県と本県からの十本の発表を基に活発な協議が行われた。

最後に文部科学省 杉本直美教科調査官が講話をし、現在国で進められている次期学習指導要領の改訂に向けて重視されている視点や考え方などの最新情報とともに、中学校国語の授業における課題解決的な学習（言語活動）の重視、小学校との違いや読書や学校図書館を位置付けた授業の在り方、評価問題の工夫等について御指導いただいた。

併せて、本研究で作成した「身に付けさせたい力一覧表、単元構想表、言語活動一覧表」を高く評価された。

二日目 吹揚小学校会場
午前 三領域と書写、各二計八つの公開授業と協議

単元で身に付けさせたい力を明確にし、児童の意欲と課題意識を高める言語活動を展



開した。特に四年「あまみこきみこミュージアムを開こう」では、授業

の終末に作者あまん先生が見童に話をされるサブライズがあり、感動を一層深めた。

午後 八つの分科会
四国各県から十六本のレベルの高い実践報告があった。

最後に、「作者に聞く／ずつと伝えたかったこと」と題し、作家あまみこ先生にインタビュー形式でお話を伺った。先生の半生や、教科書教材にもなっている作品誕生のエピソード。さらに、最新作「鳥よめ」を先生御自身の朗読で拝聴でき、会場は感動に包まれた。「生きてはたらく言葉」を実感できた一時となった。

終わりに

本大会の成果として

- 愛媛国語から全国に研究成果を発信できたこと。
- 県国語委員会から会場校研究まで、理論と実践が一本の柱となったこと。
- 学校の壁を越えて、地域の国語教員による組織的な共同研究ができたこと。

等が挙げられる。最後になったが、大会開催を御支援いただいた関係各位に心から感謝申し上げます。

応募短歌

父絢いしひめそ織り機にセットして織りし筵の三十余枚
四人の子よくぞ我が子に生まれけり神の恵みか仏の恵み
満席となれるホールを揺るがせて山下洋輔ピアノに踊る

今治市 森 登志雄
今治市 森 ユキ子
愛南町 前田 充

協 学 校 生 協 会 替 換 張 り す ぶ 置 の 内 容

愛媛県学校生活協同組合連合会では、(有)ライフネットと提携店契約を結んでおります。

ご面倒な置替え、ぶすまの張り替えなどのご用命はお気軽に学校生協までご相談ください。

お問い合わせは
愛媛県学校生活協同組合連合会
電話 (089) 925-0556
または 郡市学校生活協同組合

ふるさとスケッチ

No.387

伊予港旧灯台



伊予市北山崎小
教諭 日野 ゆり

伊予市五色浜公園の北側、現在の伊予港に建つ石造りの灯台。この灯台は、船の安全を見守ってくれたものです。今は引退してしまっただけ、引退してもなお、美しい姿で海を見つめ、船の安全を見守るかのようにりと建っています。



このように古きよき文化財が数多く残っています。その一つ一つに物語があり、優れた技術があります。それらを大切に保存し、子どもたちに伝えていきたいと思っています。ふるさとの歴史を教えてくださいませんか。

ご冥福をお祈りします

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|
| 高橋敏夫様 | 岡田建雄様 | 松岡裕次様 | 正岡四郎様 | 宇都宮孝俊様 | 藤田豊彦様 | 松本和彦様 | 伊藤幸雄様 | 平野照子様 | 玉野良子様 | 川端久美子様 | 吉見誉充様 | 河村ゲイ様 | 武田恒久様 | 森田実久様 | 戒田良久様 | 中野太一郎様 | 安藤サト子様 |
|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|

80歳	93歳	187歳	86歳	84歳	98歳	85歳	90歳	89歳	88歳	89歳	88歳	89歳	85歳	93歳	92歳	93歳	47歳	85歳	90歳
-----	-----	------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|------------|----------|-----------|------------|--------------|--------------|----------|------------|-------------|------------|----------|-----------|---------------|--------------|--------------|-----------|------------|---------|----------------|--------------|
| 新居浜市大生院六〇一〇 | 伊予市上吾川三三七二 | 伊予市米湊六二〇 | 今治市別名三〇一〇 | 八幡浜市横平乙四〇六 | 今治市大三島町大見三〇〇 | 西予市三瓶町津布理九一一 | 西予市飯岡五五二 | 松山市善心寺甲三三六 | 松山市星岡二丁目七三三 | 松山市下難波甲三三三 | 西条市桑村三二二 | 西条市伊方町中浦八 | 西予市宇和町卯之町三三三六 | 四国中央市豊岡町豊七七一 | 北宇和郡鬼北町成藤三六一 | 今治市蒼社町一九九 | 西条市丹原町志川〇四 | 伊予市市場四九 | 喜多郡内子町五十崎甲〇三一一 | 四国中央市土居町土居〇九 |
|-------------|------------|----------|-----------|------------|--------------|--------------|----------|------------|-------------|------------|----------|-----------|---------------|--------------|--------------|-----------|------------|---------|----------------|--------------|

28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	27	27	27
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
31	31	30	30	29	28	28	26	25	25	23	19	18	17	17	14	10	10	2	31	27

ローカルトピックス

かわら館と瓦のふるさと公園

JR菊間駅の山手に、約七五〇年の歴史と伝統をもつ菊間瓦を紹介する『かわら館』があります。館内には、様々な瓦や瓦粘土でつくられた作品が展示されています。昔の瓦づくりや町の様子が立体模型で再現されたコーナーもあり、興味深く見る事ができます。また、松山城などのお城や皇居、各地の神社仏閣や住宅に使用された菊間瓦の歴史が、時代絵巻風な年表にわかりやすくまとめられています。



瓦の歴史や種類、デザインなどについて、少しでも知っているのと、日本の古い建物を訪ねたとき、より味わい深く眺めることができるでしょう。

応募自由律俳句

(定型句を含む)

グイヤ婚テレビ新聞広報に
グイヤ婚二人揃って草引きぬ
入学へ咲けとはなむけ咲くさくら
鯛の粗新菊入りけいけいよし
故郷の道を狭める稲穂かな
霜柱踏んで早足バス停へ
芋だきにすすきをそえて秋惜しむ

西条市	西条市	宇和島市	内子町	松山市	今治市	今治市	今治市	今治市	今治市	今治市	今治市	今治市	今治市	今治市	今治市	今治市	今治市	今治市	今治市	今治市
一色	高橋	米子	小野	丹下	森	森	森	森	森	森	森	森	森	森	森	森	森	森	森	森
早苗	和	達雄	元幸	友和	ユキ子	ユキ子	ユキ子	ユキ子	ユキ子	ユキ子	ユキ子	ユキ子	ユキ子	ユキ子	ユキ子	ユキ子	ユキ子	ユキ子	ユキ子	ユキ子

応募川柳

ひどい痛め元気がとれえがゼ口になり
背広着て下駄を履きたるニユールック
健康は何より宝と思ひ知る
偉い方頭を下げて二十秒
駄目駄目と駄目な叱りて駄目にする
飽食に食べられる物を捨てる時代
柿一つ取り残されて夕陽落ち
善人の知恵は幸せ呼び起こす

西条市	今治市	今治市	今治市	今治市	今治市	今治市	今治市	今治市	今治市	今治市	今治市	今治市	今治市	今治市	今治市	今治市	今治市	今治市	今治市	今治市
一色	森	森	森	森	森	森	森	森	森	森	森	森	森	森	森	森	森	森	森	森
早苗	登志雄	登志雄	登志雄	登志雄	登志雄	登志雄	登志雄	登志雄	登志雄	登志雄	登志雄	登志雄	登志雄	登志雄	登志雄	登志雄	登志雄	登志雄	登志雄	登志雄

本年度のご利用たいへんありがとうございました。
来年度も一層のご利用をお願いいたします。

会議・宿泊・宴会に 私たちの会館を！

ご利用条件の詳細はホームページをご覧ください。
<http://www.ehime-bunkyoikaikan.or.jp/>

エスポワール愛媛文教会館

一方、瓦粘土でつくられた花瓶や置物など、現代の生活にマッチした作品も展示されています。

隣接する『実習館』では瓦粘土を使った作品づくりを体験することもできます。

丘陵地に広がる『瓦のふるさと公園』で潮風にふかれながら自然を眺めたり、小学生が瓦粘土で制作した卒業記念の干支作品を見たりしながら散策するのも、爽やかな気分させられるでしょう。

文教月報編集協力委員 菅 政治

今治・越智教育会 菅 政治